

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-4-3
子育て支援の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

子ども・子育て支援課長 河原 賢

電話番号

0852-22-6071

事務事業の名称	仕事と家庭の両立支援事業	
目的	(1) 対象	労働者
	(2) 意図	仕事と子育ての両立ができる雇用環境をつくる
事業概要	仕事と子育ての両立ができる雇用環境をつくるため、従業員の子育てに積極的に取り組む企業を「こっころカンパニー」に認定し、県の入札制度や制度融資で優遇する。積極的に育児に参画する男性（イクメン）や従業員（部下）の育児を理解し応援する経営者・管理職（イクボス）を養成するための各種の啓発を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	こっころカンパニー認定企業数	目標値	290.0	300.0	330.0	360.0	400.0	社
		取組目標値							
	式・定義	しまね子育て応援企業認定制度（こっころカンパニー）の認定を受けた企業数	実績値	263.0	267.0				%
		達成率	90.7	89.0	-	-	-		
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-		-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	3,567	1,516
うち一般財源 (千円)	1,161	1,516

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

こっころカンパニー認定企業数は増加しているものの、増加率は想定を下回っている。こっころカンパニー認定により県の建設工事で優遇される措置により、そうした業種に認定企業の偏りが見られる（建設業者数191社）多くの企業で子育て関係制度の活用が課題となる中で、制度の充実度と、その活用状況を一体として評価する「プレミアムこっころカンパニー」表彰制度を創設し、10社の優良企業を表彰した。環境生活部（しまね働く女性きらめき応援会議）と連携して実施した「島根県イクメン・イクボス推進キャンペーン」において、啓発ポスターの作製や新聞広報を実施した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

〇プレミアムこっころカンパニーを選定し、仕事と子育ての両立支援で実際に実績を上げている企業のPRをすることができた。
〇イクメン、イクボスキャンペーンの実施により啓発を進めることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

こっころカンパニーの登録数が伸び悩んでおり、とりわけ特定の業種以外のこっころカンパニー認定企業の登録が伸びていない。
イクメン・イクボス推進キャンペーンについては、一層の充実が必要。

②困っている状況が発生している「原因」

こっころカンパニーの現状では特定の業種以外は登録のメリットが少なく、インセンティブが働きにくい。
イクメン・イクボス推進に係る情報発信は、ターゲットが広く、県のみでの広報では予算的にも人的にも限界がある。

③原因を解消するための「課題」

こっころカンパニーの登録を幅広い業種の企業に目指してもらえるメリットを創出する必要がある。
イクメン・イクボス推進については、多くの主体と協働して取り組んでいく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

県政世論調査においても、7割以上の方が従業員の子育て支援に積極的な企業を応援する取り組みをさらに進めるべきと回答されており、9月から県全体で取り組むこととしている「女性の活躍推進に向けた県内事業者の受注機会の増大に関する取組方針」の徹底を図り、登録に向けたインセンティブが強く働くよう取り組んでいく。
イクメン・イクボス推進にあたっては、他部局はもとより「しまね働く女性きらめき応援会議」の構成団体等と一層連携を深め、協力を得て、より効果的な展開を図っていく。